

第 69 回宇宙理学委員会 議事録

日時：2020 年 5 月 7 日(木) 10:00-11:47

場所：ZOOM 開催

出席者：

委員：倉本(委員長)、山崎(副委員長)、今村、篠原、清水、福家(以上幹事)、上野、白井、笠羽、金田、河合、齋藤、杉田、関、関根、関本、高橋、堂谷、中村、羽澄、松原、三好、山田、渡邊
宇宙研：國中(所長)、藤本(副所長)、佐藤 PD、吉田(総主幹)、空野(PO 室長)、安間(参事)、青柳(科学推進部計画マネージャ)
事務局：原、和木、岸、早川、西本
欠席：草野、笠原(工学委員会対応)

<出席者確認>

会議に先立ち、ZOOM 参加者を確認した。

<所長挨拶>

藤本副所長から挨拶があった。

4 月下旬の懇談会や本日午後の理工学委員会で議論いただくが、WG 活動を如何に充実させていくかが重要であるのでよろしくお願いしたい。

1 前回議事録および AI 確認

- 前回議事録承認された
- 前回 AI のクローズを確認した。
 - 臨時委員会が多い件は、懇談会の開催で対応
 - 委員会日程調整の件は、次回以降の日程調整を始めている
 - WG 用 ZOOM アカウントの件は、現状準備予定ない。テレワークが進み独自対応されているようだが、要望があれば再考する。
 - ヘリウム入手困難の件は、PO 室から幅広く調査が行われ、各実験・プロジェクトで手配方法調整を進めている。赤外線分野で調査が来ていないという話があったが、確認の結果 SPICA チームとのやり取りはあった。Close とする。

2 議事

1) 2020 年戦略的開発研究費の選定結果について (報告)

上野委員から報告された。

特に、選定委員会で議論があった以下について紹介された。

- 戦略的国際共同ミッションの定義改定に関わる提案 (Comet-Interceptor, WSO-UV)については、所内準備チームに移行予定を所から確認したため、移行までの活動旅費のみの配算とした。
- FUJIN WG 提案について、海外機関気球実験参加でなく、ISAS 気球搭載を前提とした計画提案で会ったため対象外とした。小規模プロジェクトのスコープ定義の整理について議論が必要である。

- 超小型衛星開発は、小規模プロジェクトの対象に含まれるかが明示的でない。
- 小規模プロジェクトに関する開発提案にて、言葉の定義のみに従うと経費のスコープ外になる場合が多く、基礎開発・BBM 開発評価と読み替える等、評価にて留意が必要である。

戦略経費の想定スコープについて整理が必要であり、特に関連する小規模計画のスコープの明確化を所に申し入れた。吉田総主幹より、次回の小規模プロジェクト公募時に整理するとのコメントがあった。
(A/I 吉田総主幹)

2) 2020 年度搭載機器基礎開発研究費の選定結果について（報告）

清水幹事から報告された。

- 応募 31 件に対して 15 件を採択した。前年度に引き続き薄く広くではなく良い提案に絞って充実率を上げた支援とした。
- 前年度の成果報告書で不十分な報告 3 件について修正報告書の提出を依頼した。
- 次年度の公募への申し送り事項
 - 評価の観点不明瞭な記載が多い。書式修正を検討する。
 - 最終年度の報告書には 3 月末までの成果を含むべき。報告書提出タイミングを検討する。
- 横とのつながり・連携が希薄な提案が散見。コミュニティ側での努力に期待。委員会から提案者への返却コメントにコメントを含めた。

3) ひさき延長審査（報告）

今村審査委員長から報告された。

科学的成果が見込まれ、2021 年末までの 2 年間の運用延長を推奨する。

審査委員会から提起されたプロジェクト横断的な以下の課題が議論され、A/I が設定された。

- 科学メンバ主体の衛星運用において、衛星システムの知見をプロジェクト横断的に共有する組織的体制が必要ではないか？あらせ延長審査でも同様の提言があった。
- 人材育成等の観点から、大学院生の衛星運用参加を増強する仕組みが必要である。ISAS 内学生の参加が可能となったが、地方大学所属学生の参加が可能でない状況は改善が必要である。

衛星運用に関して、人材育成等の観点から、どのように拡充していくべきか、プロジェクト横通しの観点を盛り込めるか、それを宇宙研にどのように申し入れ実現させるか、幹事団が PD/PO/総主幹とともに検討する。(AI)

4) HiZ-Gundam の進捗状況について（報告）

山田委員から報告され、議論が行われた。

- HiZ-Gundam について具体的な対応策が出され、その方針で活動していただく。
- WG 段階から ISAS 教育職を巻き込むように活動を後押しすることが重要である。
- ISAS 側の POC の役割はもう少し大きく、“カウンターパート”が適している。
- ミッション選定時の Condition A/I について検討初期に PD/PO と着地点についてよく相談することが重要である。

5) WG 成果報告の評価（報告）（見守りの状況）

山崎副委員長より報告された。

- 公募審査中である小規模プロジェクトについては審査終了後に WG へ返す。
- フォローアップの意味で、コメントした個人名を含めて WG へ返すこととする。

個々のコメントについて、気になる点があれば、2 週間を目処に事務局・幹事団にいただく (AI 全委員)

6) RFI の改訂の状況について

山崎副委員長より報告された。

- 中長期的構想を”網羅的”にまとめることを意図して、多数コミュニティからのインプットをくくった文書としてまとめた。戦略的ではないが、網羅的に構想を示すことを重視している。
- コミュニティから RFI 改訂が提出されたら随時アップデートしていく文書である。
- Appendix の RFI 表は 2019 年以降に提出されたものとなっており、まだ網羅的ではない可能性はある。また、公開不可の回答があったものは含まれていないので、RFI 表を工夫する。

文書を公開することを前提に気になる点があれば、2 週間を目処に幹事団にいただく (AI 全委員)
コミュニティとの共有・フィードバック方法を工学委員会および宇宙研と相談する (AI 幹事団)

3 宇宙理学メンバ申請について (審議)

申請 3 名を承認した。

4 その他

1) 吉田委員の後任について (審議)

2020 年 4 月付けで総主幹になられたことにより、吉田委員は理学委員から外れる。

吉田さんは所内から選定されていたので、宇宙研所内で共同利用の観点に明るい人で委員の補充を行ないたく、阿部琢美さんを幹事団から推薦する。

→理学委員会としては承認した。今後所長に推薦し委嘱をしていただく。

理学委員会内で、吉田委員がつとめておられた小委員会については、各委員会内で相談し、補充が必要であれば申し出る。

5 議事メモ AI 確認

AI を委員全員で確認した。

以上